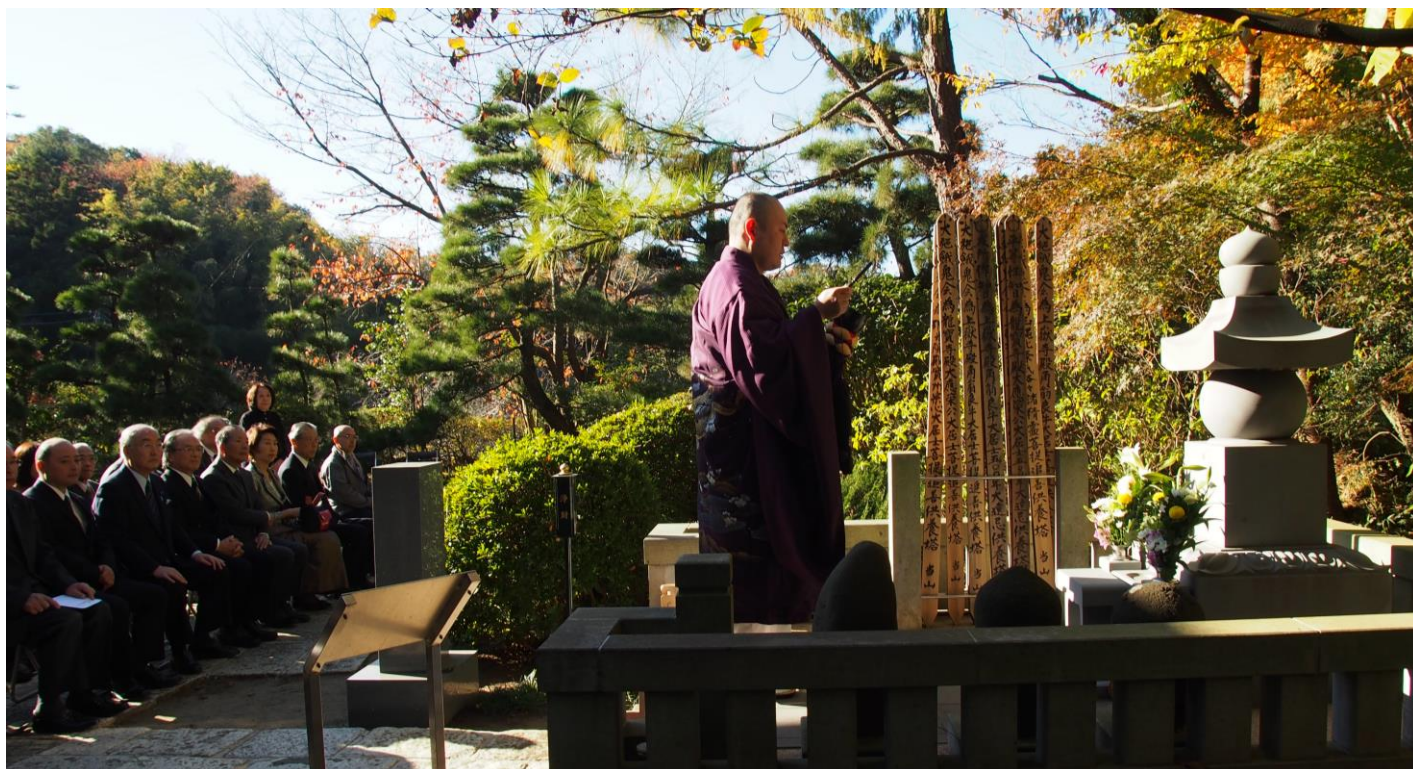


玉縄城 まちだより

発行者：玉縄城址まちづくり会議 荒井 章 ☎ 0467-45-7411 〒247-0073 鎌倉市植木 425-16

E-mail : artbank21@nifty.com URL <http://tamanawajo.sakura.ne.jp/>



早雲と玉縄城主六代の墓前祭を開催

「玉縄城主墓前祭」は法要と楽市とを併せ、十一月二十三日、玉縄北条氏の菩提寺、龍寶寺で開催されました。1512年に伊勢宗瑞（北条早雲）が築城し、難攻不落の名城として鎌倉、玉縄住民を守った玉縄城、その早雲と六代城主の墓前祭です。参列した皆さまからは「玉縄のご先祖様を身近に感じた」「墓前祭は毎年やってほしい」など多くの感想も寄せられました。

武家の古都、鎌倉をつくったのは頼朝、そして

戦国の魁として玉縄城を拠点に、武家の鎮守鎌倉を守り、関東に民の国をつくろうとしたのが伊勢宗瑞です。そして理想を受け継ぐ六代の玉縄城主がいました。戦国時代の「鎌倉の主人公」は、後北条氏、玉縄北条氏だったことを忘れることはできません。

鎌倉の祭りづくり

一昨年は「玉縄城築城500年祭」、昨年は「玉縄城主墓前祭」を実施。そして今年からは「玉縄城祭り」へ、市民と行政が協力して「祭り」をめざします。また5月には、昨年に続いて小田原北條五代祭りに鎌倉市から玉縄城代表として参加することも決まりました。各団体の皆さまに合同参加を呼び掛けます。

設立八年目、今年は市民と全会員で活動盛りあげる

十二月、当会の玉縄城里山復活の活動に損保ジャパン環境財団の助成が決まりました。玉縄城文化創生の活動もアカデミア、ふるさと館の小学生学習協力など、奉仕活動が充実しています。一月十一日の月例企画会議では「活動参加奨励キャンペーン」の実施を決めました。これは全会員と多くの市民に当会の活動に参加して頂くため、各担当が直接呼びかける計画です。

当会は設立八年目を迎え今年も大きな理想をもって前進します。皆さま、2014年は、当会の活動にご参加ください。



玉縄城の北条早雲と城主六代を偲ぶ一日



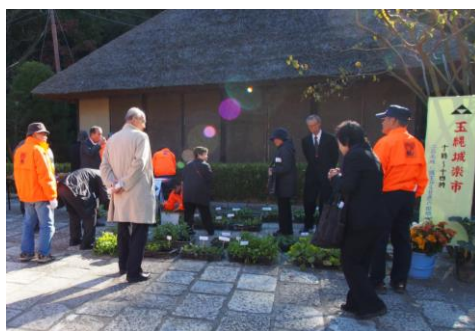
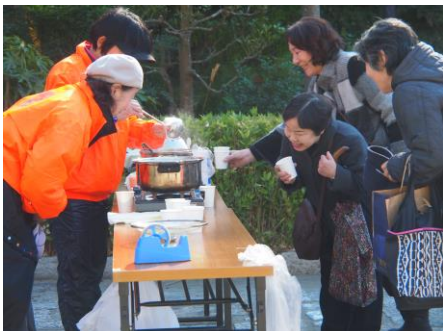
武家の古都をつくったのは頼朝だけではない

早雲の後を継いだ六代の城主は、名君揃いでした。玉縄城の初代城主になったのは早雲の次男の北条氏時、二代城主は早雲の孫にあたる北条為昌、そして三代城主が地黄八幡の幟で名高い戦国の英雄、北条綱成です。さらに氏繁、氏舜、氏勝と六代の玉縄城主は、いずれも文武両道に秀でた名君でした。それぞれに早雲の誓いを受け継ぎ、鶴岡八幡宮の改修を進め、鎌倉のまちを整備し「民のための国づくり」の理想のもとに「四公六民」の善政を敷いて民の繁栄を図ったのです。戦国時代、鎌倉の主人公は後北条氏―「玉縄北条氏」でした。



玉縄のふるさと、重文古民家で「歴史講話」「甲冑展」「楽市」を楽しむ人々

「歴史講話」玉縄城址の魅力を伊藤一美先生が語りました。「甲冑展」では鎌倉縁の戦国甲冑を十数点展示し、大竹正芳会員が解説しました。重文の旧石井家には玉縄の昔の暮らしが今に息づいています。見学の人々は古民家の昔を偲び玉縄の歴史に想いを馳せました。



楽市も甲冑展も会員が手づくりで準備しました。楽市では有機の黒米、赤米、もちごめ、梅干し、花菜苗を販売。故事に因み手づくり甘酒を先着 100 名にお振舞い。親子連れの皆さんにも好評でした。

＜知る、育てる、伝える、玉縄城址の自然＞里山復活の奉仕活動に助成金がつきました



七曲りの水場で産卵するトンボ



太鼓櫓址の山百合



七曲坂の野原アザミ

12 月 18 日、当会が計画している「鎌倉・玉縄城里山復活」の活動に対して、損保ジャパン環境財団が 20 万円を助成するとの通知を受け取りました。これまで続けてきた私たちの七曲坂や市民緑地や城址遺構の奉仕活動を評価し、これからの「玉縄城里山復活プロジェクト」計画に対して、環境財団として支援したいということです。今年はこの助成金を有効に活用して、作業用具を揃え、城址遺構の探索路を整備し、里山学校で学び、植栽と保全活動に会員と市民が協力して当たりたいと思います。



玉縄城址の里山



里山を守る男たち



小学生による植栽



さあ、作業をはじめよう！



里山学校に集い自然探索

損保ジャパン環境財団も期待している当会の里山復活計画とは、こんな活動です。

- ・歴史の道七曲坂「アダプト・プログラム」及び「植木 1 号市民緑地」の美化奉仕を継続し、植木、関谷城廻の両町内会の協力によって活動を充実させます。
- ・植木地域の特緑指定調査を視野に同地域及び諏訪壇一带の「里山観察と保全活動」を進めます。
- ・地権者との協議、鎌倉市との協力をもとに「七曲坂広場の植栽」を行います。
- ・清泉女学院に協力し、「諏訪壇遺構探索路」の美化整備を進めます。
- ・「知る、育てる、伝える」を目標に玉縄城里山学校を開校します。
- ・市民緑地の先に広がる市有地「焰硝蔵址」の整備協力を将来の歴史公園化も視野に進めます。

私たちは分断されてきた玉縄城址の緑の点と点をつなぎ、植栽とビオトープの再生により、鎌倉の小規模緑地を里山として復活させる活動の先行モデルとなります。一環境財団の助成金を有効に活用し、上記活動を充実させます。

市民の皆さま、そして全会員の皆さま、今年是一緒に玉縄城里山復活の作業に参加してください。

活動報告(25 年 8 月～26 年 1 月)

<玉縄城里山復活プロジェクト>



七曲坂に日本水仙 300 球植えました。5 年前に植木小の皆さんが植えた日本水仙の見頃は 2 月です。



煙硝蔵の樹林を調べる里山班、春から竹伐りなど保全作業を始めます。

<玉縄城文化創生プロジェクト>

- ・玉縄アカデミアNo.18、19 の開催



城主墓前祭を前に古民家の障子貼り

<企画・広報>

- ・あたらしいホームページの立上げ
[//tamanawajo.sakura.ne.jp/](http://tamanawajo.sakura.ne.jp/)
- ・玉縄城まちだより 13 号の発行

玉縄歴史の会のバス旅行で、伊豆の国市に行ってきました。早雲が茶々丸を討ち築城した葦山城は、伊豆半島の田方平野の東にある天ヶ岳とそれに続く尾根上に築かれ、小田原開城まで後北条の城でした。現在は、城池公園から堀切道を登って「権現曲輪」から「塩蔵址」まで散策路が整備されています。江戸時代初期には玉縄藩と同じように葦山藩が存在しましたが、その後の一國一城の決まりで伊豆藩になったそうです。(写真は本丸の案内板と城池)



【早雲公終焉の城 葦山城】探訪記

<1 月企画会議報告> 平成 26 年 1 月 11 日(土)

出席 荒井、田中、兵藤、増川、荒井幸子、加藤、荒木、森、松田、齋藤

- ・決定事項：玉縄城里山復活の活動参加奨励キャンペーン実施

- ・作業日程：2 月～4 月

市民緑地 【掃除、花木剪定】2/08, 3/08, 4/12(土)9 時～11 時

七曲坂アダプト 【道路、側溝清掃】2/22, 3/22, 4/26(土)9 時～11 時

里山学校 【野草の種まき】3/22(土)11 時～12 時

城址遺構 【草刈清掃】3/29(土)10 時～12 時

大手門前集合～諏訪壇～マリケバ～正門

▲【玉縄アカデミア】No.20

連続セミナー史料を読み込む

【江ノ島遷宮奉納帳】

◇開催日 二月二十二日(土)

14:00～16:00

◇会場 玉縄学習センター二階

◇講師 伊藤一美氏

◇募集 30 人 資料代 500 円

▲【玉縄城址遺構見学会】

◇開催日 四月五日(土)

10:00～11:30

▲【第八回総会のお知らせ】

◇開催日 四月十九日(土)

14:00～15:30

◇会場 玉縄学習センター三階

七曲坂の野草⑥「アキノタムラソウ」

シソ科の多年草で、秋に咲くイメー
ジの名前ですが、梅雨時から咲きはじ
めて初秋まで花を咲かせます。

淡い青紫色の唇形の小花を穂のよう
に付けて咲く、サルビアと同じ仲間の
花です。市民緑地(玉縄城址太鼓櫓
址)の斜面に毎年花を咲かせますが、
数が少ないので大切にしたい。

”この素朴な花を一輪差しに活けたら
とふと思う”
(増川勇次郎)



【編集後記】とお願い

玉縄城主墓前祭、皆さまありがとうございました。

古民家の【節句祭り】に飾るお雛様や
五月人形がございましたら「玉縄ふる
さと館」にご寄贈ください。

ふるさと館見学に小学生が沢山いま
す。応援、お願いします。

(☎45・7411 荒井幸子)